

第23回土木学会映画コンクール最優秀賞・  
土木学会土木技術映像委員会選定作品

長編アニメーション映画

# パッテンライ!!

～南の島の水ものがたり～

## 上映会と土木人(どぼくびと)を語る集い

嘉南の大地に命を吹き込んだ八田與一の物語



定員350名  
(先着順)

参加費無料

事前申し込み

詳しくは裏面をご覧ください

参加者募集中!

日時

平成29年12月2日(土)

14:00受付 14:30上映開始

会場

### 札幌プラザ2・5

札幌市中央区南2条西5丁目(狸小路5丁目北側)  
TEL 011-231-3388

会場案内図



日本統治時代の台湾における社会基盤整備には、様々な分野の優秀な技術者が派遣された。その中に八田與一(はったよいち)もいた。與一は、東洋一のかんがい事業を台湾の人たちと力を合わせて成し遂げ、多くの人々に恩恵をもたらした。台湾の人たちは、時を隔てた今も、年に一度ダムの際にある八田夫妻の墓の前で追悼の法要を行っている。

『パッテンライ!! ～南の島の水ものがたり～』は、台湾に渡った八田與一の業績と台湾の人々との交流を描いた長編アニメ映画である。映画の余韻が冷めぬうちに、八田氏ご子孫とゆかりある方々によるトークセッションを開催。やさしくあたたかなアニメと身近な人の思い出をとおして、土木に生涯を尽くした土木人(どぼくびと)の生き方を振り返る。

■主催/「パッテンライ!!」上映会と土木人(どぼくびと)を語る集い実行委員会

構成団体:札幌開発建設部、札幌建設管理部、札幌建設業協会、空知建設業協会、(一財)石狩川振興財団

■後援/土木学会北海道支部、農業農村工学会北海道支部、北海道社会科教育連盟、札幌市社会科教育連盟、北海道教育委員会、札幌市教育委員会、岩見沢市教育委員会、北海道教育大学

《お問い合わせ事務局》「パッテンライ!!」上映会と土木人(どぼくびと)を語る集い実行委員会

●札幌開発建設部 江別河川事務所 TEL 011-382-2358

●(一財)石狩川振興財団 TEL 011-299-7755 FAX 011-299-7550 e-mail:info@ishikari.or.jp

# パッテンライ!! (八田がやってきた!)

## 農民たちは八田を見かけるとそう叫んだ…

1918年(大正7年)、雨量が少なく、灌漑(かんがい)設備もなかったことから「不毛の大地」と呼ばれた台湾南西部に位置する嘉南(かなん)平原に八田與一(はったよいち)はいた。台湾総督府から技師として派遣された與一は、嘉南平原一帯に灌漑施設を造る壮大な計画を打ち立てた。この夢のような計画に、これまで干ばつなどに苦しめられてきた農民たちは当初、與一を敵対視、ついには「パッテンライ!!」とささやき戸を閉ざすように。農民の子・英哲(えいてつ)は、與一の土木にける情熱に次第に用水路の必要性を理解し、自らも土木技師になる夢を抱くようになる。工事は困難と試練の連続だったが、不屈の闘志と情熱を持って乗り越え、10年後、烏山頭(うさんとう)ダムは完成。ついに、乾ききった嘉南平原に水が来る日がやってきた…!

監督は『宇宙戦艦ヤマト』『超時空要塞マクロス』の石黒昇監督、脚本に『半落ち』の田部俊行、エンディング曲は一青窈のヒット曲「受け入れて」という珠玉の布陣で、新たなヒーローの物語が誕生した。



### Program

司会 & コーディネーター

フリーアナウンサー

真砂 徳子

14:00 受付開始  
14:30 上映開始  
16:00 トークセッション  
17:00 終了

### 【第1部】

◎長編アニメーション映画  
「パッテンライ!! ～南の島の水ものがたり～」  
上映会

### 【第2部】

◎トークセッション

《パネラー》

八田與一のお孫様	八田 修一
八田與一の部下 宮地末彦(初代網走開発建設部長)のご息女	宮地 利彦
八田與一と東京帝国大学で同級生で夕張川新水路事業に尽力した保原元二のご息女	佐々木 光枝
札幌開発建設部次長	宮藤 秀之 (敬称略)

## 申込書【FAX 送信書】

【個人情報の取り扱いについて】お申し込みの際にご記入いただいた個人情報は、受付を円滑に行うためのものであり、それ以外の目的、または第三者への提供はいたしません。

11月17日までにFAX かメール、WEBにてお申し込みください。

ふりがな	ふりがな
氏名	団体名・学校名
お住まいの市町村名	電話または携帯電話 (日中連絡のとれる電話番号を記入して下さい)
	e-mail

申込先

【FAX】011-299-7550

【web】<http://www.ishikari.or.jp>

【e-mail】[info@ishikari.or.jp](mailto:info@ishikari.or.jp)